

全酪連会報 2

2022 FEB No.677



若手後継者の本音／
奥澤佑介さん

品質保証室だより／
令和3年度食品事故情報

酪農業に対する理解醸成活動報告③

日本酪農見て歩紀／
株式会社坂手ファーム
(岡山県加茂町)

酪農トピックス／
全国農協乳業協会
「令和3年度経営者研修会・意見交換会」
(酪農部)ほか

令和4年
各地域酪農青年女性会議
酪農発表大会開催のご案内

人事異動



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会

みどり市は群馬県の東部に位置し、足尾銅山の銅を運ぶあかがね街道の宿場町として、また生糸の集散地として人々の行き交う場所として発展してきました。

現在でも、南北には栃木県日光市から埼玉県を経由して東京都までつながる国道122号、東西には前橋市から茨城県水戸市へとつながる国道50号が走り、交通の要衝地としての役割を担っています。鉄道においても東京都ともつながるJR両毛線、東部鉄道桐生線のほか、地元住民の身近な交通手段として上毛電鉄、旅行番組などでも頻繁に取り上げられている、わたらせ渓谷鉄道があります。

(みどり市ホームページより抜粋)



▲ 佑介さん、奥さん、息子さん
(娘さんもいらっしゃいますが、恥ずかしいとのことで今回は3人で撮らせていただきました。)

今回は、群馬県みどり市奥澤牧場の後継者 奥澤佑介さんにお話を伺いました。

就農のきっかけ

当初は酪農を継ぐとは考えていなかったそうです。「大学卒業後は、畜産飼料メーカーの営業として勤めていました。大学時代に知り合った妻は牧場の従業員として働いていたこともあり、『せっかく実家が酪農家なのだから継いだ方がよい!』という強い思いに根負けし、就農を決意しました。しかし、そのおかげで今では経営の面白さ、楽しさを実感して仕事ができているので、就農して良かったと思っています。」

就農してからの取り組み

就農当初、自給飼料主体でコストを削減した経営をしていましたが、エサが足りておらず、牛の健康状態への弊害も見られたため、直ぐに飼養管理の見直しを行いました。また、イノシシの被害が大きかったことから、去年よりデントコーンを止め、現在は購入飼料型の経営にシフトしています。

エサだけではなく、牛舎環境についても少しずつ整備していったそうです。

「搾乳牛舎の屋根に断熱を施し、今まで作っていなかった乾乳牛用のパドックの増設をしました。乾乳牛用のパドックは屋根を段違いにして風通しを良くし、屋根は異なる材質を交互に組み合わせて、日光と日陰が適度に入るよう設計

しました。日光によって牛床が乾きやすく、ピタミンDの合成にも期待が持てます。適度に影が入れば暑すぎることありません。できるだけカウコンフォートに配慮し、スムーズに自然分娩できるような環境を目指して作りました。」
他にも冬場は牛の飲用水を温水にできるようなボイラーが設置されています。

経営を回すためには繁殖管理が欠かせません。就農してから直ぐに繁殖検診、牛群検定も開始しました。また、経営内容を視覚的に把握できるようにと、DMSシステム(酪農家経営支援システム)を導入しています。

現在は行っていませんが、就農当初はコンサルタントに入ってもらい1回/月ほどのペースでバーンミーティングを行っていたそうです。「牛を見ながらその牛の状態、原因を教えるという改善していく作業を繰り返していました。中には自身の牛舎に合わないやり方で失敗もありましたが、牛の見方や飼養管理方法といった様々な知識はここから得られました。今の自分があるのは、その時の経験が大きく影響していると感じています。」

繁殖管理をより高めるために人工授精、受精卵移植の資格も取りご自身で種付けをされています。「人工授精は比較的うまく受胎してくれましたが、受精卵移植はなかなか受胎しませんでした。しかし自分で種付け・移植を行うこと

▼ 新設した育成牛舎
乾乳用パドックと同じ屋根のつくり 扇風機も設置



▲ 乾乳パドック
広々としています
風も良く通ります

◀ 乾乳パドック
適度に陽光と影が
入る屋根です

▼ 搾乳牛舎
ほとんどの牛が寝ています



◀ DMS作業風景



全国の若手後継者の皆さんへ一言!

自身で経営することは難しさもありますが、面白さも感じています。楽しいと思える経営づくりが大切だと思います。



若手後継者の 本音

Vol.55

【経営概況】

所 属 明友酪農業協同組合(西村和博代表理事組長)

家族構成 奥澤佑介さん、妻、父、母、お子さん2人

飼養頭数 平均経産牛頭数46頭、平均育成牛頭数12頭(一部預託)

飼養管理で大切にしていること

「とにかく牛をよく観察し、健康に飼うことです。」エサ、飼養環境を整えるだけではなく、牛を観察し早期対応を行うことを意識されているとおっしゃっていました。搾乳牛の飼料給与の順番・量、蹄の状態、乾乳期の食い込み、活気の変化、糞の状態など常日頃から気を使っているそうです。特に乾乳には力を入れており、クローズアップ期に食いが落ちず、しっかりと食べられる健康状態にもっていくと分娩と

で、獣医師や自分で種付けする酪農家との交流が増え、より技術・知識が身についたと思います。就農当初よりも平均乳量の増加、繁殖も良く回るようになりました。」

今後の目標

その後の立ち上がりガスムーズであると感じていることから、牛ごとに丁寧に観察されています。

受精卵移植の割合を増やすことも視野に入れているそうです。現在も繁殖和牛農家から受精卵を譲り受け、借り腹で分娩させ雌ならもとの繁殖和牛農家へ販売、雄なら市場へ販売しています。「土地の広さに限界があるなかで、搾乳牛の増頭は限界にきています。酪農による収益と副産物による収益をうまく組み合わせ、より所得率が高い経営を目指したいです。」

令和
3年度

食品事故 情報

食品衛生法及び食品表示法の一部改正（令和3年6月1日施行）に伴い、食品表示リコール情報サイト（食品衛生申請等システム）の運用が開始されました。

品質保証室では、消費者庁の専用サイトや、業者による開示サイトより、これらの情報を調査しております。今回は本年度（令和3年度）のこれまでの食品リコールの情報を取りまとめてみます。

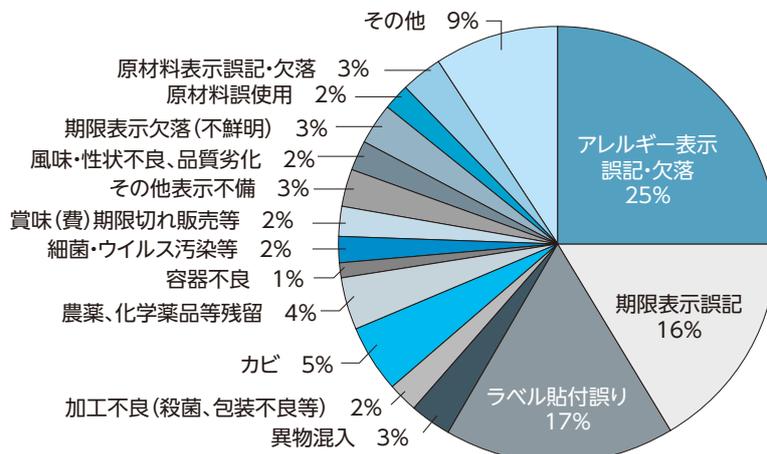
1

全リコール情報

【注意】 リコール情報が開示されていないものは含まない。

■ 2021年度 食品事故情報

| 事故原因 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | share | 平均件数 /月 |
|----------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|-------|------------|
| アレルギー表示誤記・欠落 | 14 | 17 | 47 | 49 | 46 | 51 | 52 | 71 | 98 | | | | 445 | 25% | 49.4 |
| 期限表示誤記 | 9 | 16 | 28 | 39 | 35 | 24 | 42 | 46 | 40 | | | | 279 | 16% | 31.0 |
| ラベル貼付誤り | 6 | 5 | 30 | 42 | 34 | 46 | 41 | 52 | 53 | | | | 309 | 17% | 34.3 |
| 異物混入 | 5 | 5 | 7 | 9 | 8 | 5 | 8 | 6 | 9 | | | | 62 | 3% | 6.9 |
| 加工不良（殺菌、包装不良等） | 3 | 2 | 3 | 1 | 5 | 6 | 7 | 9 | 5 | | | | 41 | 2% | 4.6 |
| カビ | 2 | 6 | 5 | 12 | 13 | 12 | 17 | 15 | 11 | | | | 93 | 5% | 10.3 |
| 農薬、化学薬品等残留 | 0 | 7 | 4 | 13 | 10 | 8 | 12 | 8 | 12 | | | | 74 | 4% | 8.2 |
| 容器不良 | 1 | 3 | 6 | 4 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | | | | 20 | 1% | 2.2 |
| 細菌・ウイルス汚染等 | 0 | 2 | 5 | 7 | 9 | 2 | 9 | 1 | 6 | | | | 41 | 2% | 4.6 |
| 賞味（費）期限切れ販売等 | 3 | 6 | 3 | 3 | 3 | 1 | 6 | 3 | 2 | | | | 30 | 2% | 3.3 |
| その他表示不備 | 2 | 2 | 7 | 6 | 3 | 6 | 6 | 8 | 10 | | | | 50 | 3% | 5.6 |
| 風味・性状不良、品質劣化 | 5 | 3 | 4 | 5 | 8 | 3 | 8 | 2 | 5 | | | | 43 | 2% | 4.8 |
| 期限表示欠落（不鮮明） | 5 | 4 | 6 | 11 | 5 | 9 | 9 | 2 | 3 | | | | 54 | 3% | 6.0 |
| 原材料誤使用 | 0 | 2 | 3 | 3 | 4 | 3 | 2 | 5 | 10 | | | | 32 | 2% | 3.6 |
| 原材料表示誤記・欠落 | 4 | 2 | 3 | 6 | 4 | 10 | 4 | 8 | 10 | | | | 51 | 3% | 5.7 |
| その他 | 7 | 10 | 19 | 17 | 16 | 39 | 21 | 10 | 21 | | | | 160 | 9% | 17.8 |
| 計 | 66 | 92 | 180 | 227 | 204 | 225 | 246 | 249 | 295 | | | | 1,784 | 100% | 198.2 |

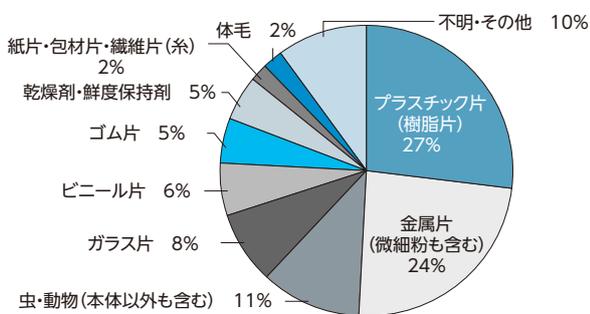


「アレルギー表記誤記・欠落」や、「期限表示誤記」、「ラベル貼付誤り」など、表示票の貼付に起因するものが過半数を占めております。表示票の管理が非常に重要なポイントとなっていることを示しています。

2 異物混入によるリコール

2021年度 食品事故 異物混入詳細

| 混入異物 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | share | 平均件数/月 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-------|--------|
| プラスチック片（樹脂片） | 1 | | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | | 17 | 27% | 2.1 |
| 金属片（微細粉も含む） | 2 | 4 | | 1 | | 1 | 2 | 3 | 2 | | | | 15 | 24% | 2.1 |
| 虫・動物（本体以外も含む） | 1 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | | | | 7 | 11% | 1.4 |
| ガラス片 | | | | 1 | 2 | | | 2 | | | | | 5 | 8% | 1.7 |
| ビニール片 | | | | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 4 | 6% | 1.3 |
| ゴム片 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | 3 | 5% | 1.5 |
| 乾燥剤・鮮度保持剤 | | | | 2 | | | 1 | | | | | | 3 | 5% | 1.5 |
| 紙片・包材片・繊維片（糸） | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 2% | 1.0 |
| 体毛 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 2% | 1.0 |
| 木片 | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| 異種原料 | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| コゲ | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| 硬質異物（石等） | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| 不明・その他 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | 2 | | | | 6 | 10% | 1.2 |
| 計 | 5 | 5 | 7 | 9 | 8 | 5 | 8 | 6 | 9 | 0 | 0 | 0 | 62 | 100% | 6.9 |

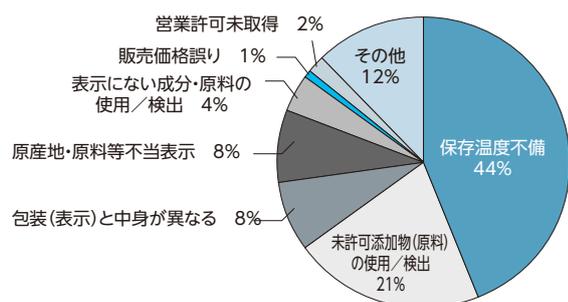


「プラスチック片（樹脂編）」と「金属片（微細粉も含む）」が過半数を占めます。プラスチック片は金属探知機には反応しませんし、X線検査でのみ検出が可能です。検査機の精度設定が非常に難しい場合があります。また、金属片も微細粉である場合、金属探知機であれ、X線検査機であれ、精度設定が非常に困難となります。製造設備のメンテナンス管理が重要と考えられます。

3 その他の理由によるリコール

2021年度 「その他」の概要

| 事故原因 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | share | 平均件数/月 |
|------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-------|--------|
| 保存温度不備 | 2 | 3 | 5 | 13 | 11 | 8 | 8 | 7 | 13 | | | | 70 | 44% | 7.8 |
| 未許可添加物（原料）の使用/検出 | 1 | 1 | 4 | | | 25 | 2 | | | | | | 33 | 21% | 6.6 |
| 包装（表示）と中身が異なる | | 1 | 4 | | | | 3 | 1 | 4 | | | | 13 | 8% | 2.6 |
| 原産地・原料等不当表示 | 1 | 3 | | | | 1 | 5 | 1 | 2 | | | | 13 | 8% | 2.2 |
| 表示にない成分・原料の使用/検出 | | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 7 | 4% | 1.8 |
| 販売価格誤り | 1 | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 1% | 1.0 |
| 営業許可未取得 | | 1 | | | | | | | 2 | | | | 3 | 2% | 1.5 |
| 優良誤認等不当表示 | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| 見本品・テスト品の誤販売 | | | | | | | | | | | | | 0 | 0% | 0.0 |
| その他 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 4 | 2 | 1 | | | | | 19 | 12% | 2.4 |
| 計 | 7 | 10 | 19 | 17 | 16 | 39 | 21 | 10 | 21 | 0 | 0 | 0 | 160 | 100% | 17.8 |



「保存温度不備」については、製品倉庫・流通段階・営業倉庫の温度チェックが重要と考えます。

「未許可添加物（原料）の使用/検出」については、海外のワサビ材に未許可の薬剤が含まれていたことが9月に報告され、多岐にわたる商品で回収報告が多数報告されたものです。

乳製品などの製造を行う場合、これら発生原因の事前自主検査を繰り返し行うことで、発生リスクを減らすことができるよう期待します。

酪農業に対する 理解醸成活動 報告③



名古屋支所

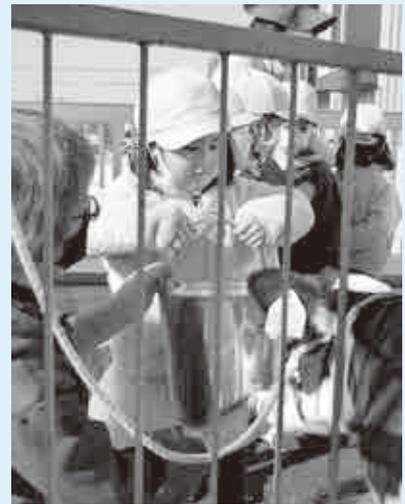
- 大名古屋ツアー
- 合同会社 酪 北村牧場 (愛知県西尾市)
- 開催日: 令和3年10月30日(土)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合 他 3名



- 愛知県畜産フェスタ
- 愛知県畜産総合センター (愛知県岡崎市)
- 開催日: 令和3年10月30日(土)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合 他 12名



- 子牛ふれあい体験
- 愛知県内保育園
- 開催日: 令和3年12月16日(木)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合 他 4名



▲ 子牛の哺乳体験

- 職業体験学習
- 愛知県内中学校
- 開催日: 令和3年11月10日(火)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合 1名



- わくわくモーモースクール
- 愛知県内小学校
- 開催日: 令和3年11月19日(金)、令和3年11月24日(火)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合



- エル・ファーム サカキバラ (愛知県半田市)
- 開催日: 令和3年11月23日(火)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合



- 岡崎市農業祭 紅葉まつり
- 岡崎市東公園 (愛知県岡崎市)
- 開催日: 令和3年11月28日(日)
- 参加者: 愛知県酪農農業協同組合 他 3名



- ふくおかの酪農応援!
乳製品特別販売会
- 九州広場(福岡県福岡市)
開催日:令和3年10月19日(火)
参加者:ふくおか県酪農
青年女性会議



- 福岡県庁(福岡県福岡市)
開催日:令和3年11月30日(火)
参加者:ふくおか県酪農青年女性会議



- 伊都物語 工場直売イベント 第12回 Laboフェス
- 株式会社 糸島みるくぶらんと(福岡県糸島市)
開催日:令和3年10月17日(日)
参加者:ふくおか県酪農青年女性会議



- クリスマス会
- 福岡県内公民館
開催日:令和3年12月4日(土)
参加者:ふくおか県酪農青年女性会議



- 酪農体験受入
- パインテルファーム株式会社
(長崎県雲仙市)
開催日:令和3年10月16日(土)、
令和3年10月27日(火)、
令和3年11月25日(木)
参加者:長崎県酪農青年女性会議



- 株式会社 さとむら牧場(長崎県佐世保市)
開催日:令和3年10月22日(金)
参加者:長崎県酪農青年女性会議
他 3名



●大村市 牧場まつり

●高良谷牧場

(長崎県大村市)

開催日: 令和3年
11月7日(日)参加者: 長崎県酪農
青年女性会議
他 7名

●道の駅 深江 収穫祭

●南島原市深江特産物直売所(長崎県南島原市)

開催日: 令和3年11月13日(土)

参加者: 長崎県酪農青年女性会議 他 3名



●諫早市 諫早まつり

●諫早市中央干拓

開催日: 令和3年11月20日(土)

参加者: 長崎県酪農
青年女性会議 他 5名

●搾乳体験・仔牛ふれあい・バター作り体験

●鹿児島県内 とも園など

開催日: 令和3年11月5日(金)、
令和3年11月13日(土)

参加者: 鹿児島県酪農青年女性会議





▲ 健吾さん(右)とご両親

株式会社坂手ファーム
岡山県加茂町

美味しさ・安心安全に
こだわった加工品製造

地域の紹介

株式会社坂手ファームがある加茂町は、岡山県で3番目の規模の津山市の北東に位置しています。春は桜夏は川遊び、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の豊かな自然を感じることができます。天気の良い日に近くの高い山に上がれば、鳥取砂丘まで見渡すことができます。湖畔周辺に配置された自然を活かしたキャンプ場・レクリエーション施設があり、家族連れに人気です。水の綺麗な加茂の川で育った魚は味も別格で季節によってアマゴやアユが釣れます。さらに加茂の川にはオオサンショウウオが生息しています。非常に綺麗な水にしか住めないこの両生類は、環境破壊で絶滅しつつあるので国の天然記念物として保護されています。

組合の紹介

今回訪問した株式会社坂手ファーム



▲ 搾乳

ムは、おかやま酪農農業協同組合（長恒泰治代表理事組合長）に所属されています。組合の令和2年度生乳生産量は98,996t（前年比107.1%）、生乳出荷戸数182戸（令和3年12月末日現在）となっています。平成14年4月1日、岡山県酪農農業協同組合連合会と岡山県下4つの酪農専門農協（旭東酪農



業協同組合、水島酪農業協同組合、瀬戸内酪農業協同組合、ホクラク農業協同組合）が合併して発足しました。本所・津山支所（蒜山事務所）・南支所（西大寺事務所・びほく事務所・備南事務所）から成り、配送拠点であるセンター・検査室・クーラー・ステーションなどの施設を要していません。

牧場の概要

株式会社坂手ファームは、坂手健吾さん（35歳）が代表取締役、父親の茂則さん（69歳）、母親の美智子さん（63歳）の3名で仕事をされています。仕事の担当は、健吾さんが餌の管理・哺乳・加工、茂則さんが搾乳・繁殖、美智子さんが搾乳・



▲ ブラウンスイス

加工を担当して仕事をしています。現在の飼養頭数は、経産牛43頭、未経産牛15頭で全酪連北海道預託を利用しています。過去に経産牛70頭を飼養していましたが、堆肥センターの受入容量の関係で頭数を減らした経緯があります。自給飼料はイタリアンライグラス・イタリアンミレットで7反ほどです。過去には4.5haほど作付面積があったそうですが、牛を観察する時間が取れなくなり、減らす方向にしたそうです。堆肥は戻し堆肥での利用や近隣の方に販売しています。加工施設では、ブラウンスイスの生乳を使用したチーズ・ビーフジャーキー・干し牛燻・ソースを開発・販売しています。

牧場の沿革

株式会社坂手ファームは、茂則さんのお父さんが昭和28年に和牛5頭だったところに、ホルスタインを1頭導入し酪農を開始しました。その後、昭和46年に茂則さんが就農し30頭牛舎を新築しました。平成6年に70頭を収容できるリーストール牛舎を新築しました。当時は岡山県でリーストールが普及する前だったこともあり、島根県や兵庫県など県



▲ 自ら肉をさばきます



▲ 一番人気の干し牛燻

販売しました。平成26年にチーズ製造で6次産業総合化事業計画の認定を農林水産省より受け、平成27年にブラウンスイスの生乳でチーズの製造販売をスタートしました。同年に茂則さんが畜産功労賞を、美智子さんが毎日新聞社の農業記録賞優秀賞を受賞されました。平成30年12月5日に株式会社坂手ファームへ法人化し現在に至っています。

こだわり

株式会社坂手ファームが目指しているのは、高品質な生乳生産（令和2年度乳質改善表彰）、加工品販売では化学調味料を一切使用せず無添加で仕上げ、老若男女問わず安心して味を堪能できる商品づくりです。本場の牛肉が味わえるジャーキーとは？生乳らしさが出たチーズとは？食材の美味しさを引き立たせるソースとは？肉や乳製品は健康なカラダ作りにとって大切な食品であるため、すべて手づくりで追求しています。しかし、加工品販売も最初から上手くいっていたわけではなく、多くの苦労をされてきたそうです。チーズ作りが初めてだった健吾さんは、東京・仙台などで開かれる研修



▼ ギフトセット



▲ チーズ各種

や県内で行われる講習に参加し、時には県内のチーズ製造をしている方に教わってトライ&エラーを繰り返しながら味の追求をされてきたそうです。「実はカマンベールが苦手だったんですよ（笑）、だからそんな自分でも美味しく食べられるようなクセのない美味しいチーズに仕上げました。」と語ってくださいました。取材中にも試食させていただきましたが、ブラウンスイスだからこそ感じられる濃厚な味わいです。カマンベールの他にさけるチーズでお馴染みの「ストリング」、「ハーブチー

ズ」、「カチョカヴァロ」の4種類を製造しています。ビーフジャーキー、干し牛燻は、ともに一般的な肉牛のジャーキーとは違い、岡山県産の乳牛の肉のみを使用しています。また、自家産のニンニク、自家製の桜チップ、石垣島の自然塩、国産有機無農薬で作った大豆の醤油など、原材料のこだわりもあります。干し牛燻は津山市で保存食として親しまれてきた干し肉を地元の大学や商工会議所の協力のもと開発された商品です。ワインやウイスキーと一緒に堪能してもらえたらとのことでした。ジャー

キーは「プレーン」、「粒コシヨウ」、「バジル」の3種類。干し牛燻は「プレーン」と「粒コシヨウ」になります。現在は県内の飲食店の他に岡山駅構内、百貨店、東京駅構内、浅草、自社オンラインショップで販売しており、津山市ふるさと納税の御礼品にも出品しています。コロナ禍以前はお店に足を運んで担当者で打合せをしたり、店頭販売や試食会など消費者の方と実際に会って交流する機会を大切にされてきましたが、今の状況ではなかなか難しいとのことでした。

組合活動・地域とのつながり

美智子さんは津山地区酪農女性部の活動で牛乳・乳製品を使用した「乳和食料理講習会」を行っています。岡山県消費生活問題研究協議会や津山市内の65歳以上を対象としたふれあい料理倶楽部と一緒に公民館・福祉センターなどで牛乳料理のPR、消費拡大活動をされています。「ミルク冷や汁」「ミルクくず豆腐」「さんまとしょうがの牛乳ごはん」など季節や年齢に合わせたメニューは多岐にわたります。また、商工会議所との駅前販売や百貨店でのイベントなどにも積極的に取り組まれています。

す。美智子さんは2021年10月にラジオ関西に出演し、酪農や自社製品についてお話しされたそうです。このような活動もコロナ禍で思う様な活動ができていないようですが、引き続き行っていきたいと語ってくださいました。

今後の目標・夢

健吾さんへお聞きしたところ、飼養管理の方では哺育・育成管理に力を入れ、発育改善を目標にしていきたいと考えているとのことでした。加工品の方では販売・経営強化をしていきたいとのことでした。県内のイタリアンレストランからはジェラート製造の依頼もあるようで検討中と目を輝かせていました。また、コロナ禍が収束した後には、以前のようにイベントへ足を運んでいきたいと語ってくださいました。

おわりに

今回、コロナ禍の中、快く取材をお受けいただきました株式会社坂手ファームの皆様へ感謝申し上げます。また、株式会社坂手ファームのご健勝とご発展を祈念申し上げます。

(Y・Ito)

酪農部
発全国農協乳業協会
「令和3年度経営者研修会・意見交換会」

酪農部が事務局を担っている全国農協乳業協会(会長：大久保克美 東毛酪農業協同組合 代表理事組合長)において、令和4年1月13日に22事業者25名(地域協議会含む)の参加をえて、KKRホテル東京「丹頂の間」及びオンライン併用にて開催いたしました。

本研修会・意見交換会は、毎年会員経営者に対して酪農乳業情勢や時事的なテーマを取り上げております。今年度は、「酪農乳業情勢」に合わせて「SDGs」をテーマに3つの講演をいただきました。

冒頭大久保会長からの挨拶で、年末の生乳廃棄を回避できたことへの感謝と、春休み期間にあたる年度末についても、より一層の対応を取っていくことへの協力が求められました。

講演①として農林水産省畜産局牛乳乳製品課乳製品調整官 松本憲彦氏より、昨年11月より農林水産省及びJミルクを中心に行われた、全国的な脱脂粉乳の在庫解消に係る「令和3年度酪農・乳業意見交換会について」講演いただきました。今後より具体的な枠組みが詰められていくところですが、農協乳業各社へも在庫対策事業についての理解と協力を求められました。

続いて講演②として、一般社団法人SDGs支援機

構代表 河上伸之輔氏より、「SDGsはビジネスチャンス」と題して、中小企業におけるSDGsの取り組み事例や取り組む際の注意点等をご講演いただきました。会員企業においても、取引先や消費者から「SDGsへの取り組み」について回答を求められる中、経営層だけでなく職員と一緒に「SDGsへの取り組み」を進めることの重要性をお話いただきました。

最後に講演③として、一般社団法人Jミルク生産流通グループ課長 関芳和氏より、「酪農乳業界におけるSDGsの取り組みについて」と題し、酪農乳業でのSDGs取り組み事例や、どのようなことに貢献できるか等についてご講演いただきました。当協会の地元生産者指定の牛乳に対して行っている「生乳鮮度重視牛乳推奨制度」についても、「SDGsへの貢献」が期待できるスキームではないかとのお話もあり、当協会としても引き続き制度の在り方や今後SDGsの視点での制度改革を検討していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染が広がりつつある中、オンライン併用にすることで多くの会員経営者のご参加が得られました。これからもアフターコロナ、Withコロナの時代に合わせた情報提供や研修会の開催等、活動を続けていきたいと考えております。(Y.A)



▲ 挨拶をする大久保会長
(東毛酪農業協同組合
代表理事組合長)挨拶



▲ 農林水産省 松本乳製品調整官



▲ (一社)SDGs支援機構
河上代表



▲ (一社)Jミルク 関課長

仙台
支所発

「第1回 牛乳標語・川柳コンクール審査会」開催

福島県牛乳普及協会（会長 福島県酪農業協同組合 紺野宏代表理事組合長）は、令和3年11月10日「コラッセふくしま」において、今回が記念すべき第1回となる「牛乳標語・川柳コンクール」の審査会を開催しました。

このコンクールは、中学生を対象として募集を行い、部活などで忙しい中学生にも牛乳・酪農・乳業に

関心を深めてもらいたいと期待を込めて始められました。今年度は、初回にもかかわらず706点の応募がありました。標語・川柳からは生徒たちの気持ちが伝わってくる作品などがたくさんあり、審査員の方々からは、中学生らしい作品で読んでいてとても楽しかったと講評をいただきました。（Y.M）

最優秀賞作品

川柳

須賀川市立義務教育学校
稲田学園 一年
齋藤 蘭さん

牛乳で
今日のスイッチ
入れる朝

*毎朝牛乳を飲んで「今日も頑張るぞー!」というスイッチをいれています。

標語

福島市立福島第一中学校 二年
茂木 乃海さん

元氣な子
秘訣はなあに
牛乳だ

*クラスにいる元氣な子に理由を聞いたら、牛乳を飲んでると答えました。

川柳

西郷村立西郷第一中学校 三年
高橋 快翔さん

九年間
感謝忘れず
飲む一本

*小学校から中学校まで、どんなことがあっても毎日出た牛乳を、いろんな人のおかげで飲めているという感謝の気持ちです。

優秀賞作品

標語

須賀川市立第三中学校 一年
加賀 さくらさん

牛乳でつながる
未来のワタシ
牛乳でつくる
未来のカラダ

*牛乳は体に良いので、未来の私の骨となり体となり、未来へつなげてくれることを考えました。

川柳

福島市立福島第一中学校 一年
渡邊 小巻さん

つまつてる
白さの奥に
濃い魅力

*真っ白できれいな牛乳には、計り知れないほど濃い魅力がつまっております、もっと知ってほしいと思いました。

川柳

西郷村立西郷第一中学校 三年
花里 美緒さん

牛乳は
食べ方飲み方
無限大

*牛乳はそのまま飲めるし、コーヒード割ったり、シチューやデザートなど色々な場面で使われていることを表しました。

川柳

会津坂下町立坂下中学校 一年
栗城 梢さん

「背え伸びろ!」
牛乳飲んで
ねむる夜

*私の小さい頃の思いから書きました。寝る前の期待感が伝わってほしいです。

川柳

平田村立ひらた清風中学校 二年
阿部 勝茂さん

飲み続け
目指す身長
ニメートル

*今の私の願いを書きました。

標語

いわき市立植田東中学校 三年
渡部 珠里さん

受験生
ホットミルクを
飲みほして
もうひとふんばり
春はすぐそこ

*受験勉強を頑張っている寒い夜に、祖母が入れてくれた温かい牛乳を飲んで合格に向けて頑張ろうと思いました。

仙 台
支所発

ちょっと手作り 牛乳を食べよう

食べて牛乳と脱脂粉乳の両方の消費を拡大、そんな情報が寄せられて話しを聞きに山形県南陽市の山形県酪農業協同組合（山口長一代表理事組合長）を訪問しました。その主役は「牛乳寒天」そして「牛乳寒天の素」でした。ところでそもそも寒天とは、テングサなどの海藻を原料として作られた、食物繊維が豊富な自然食品です。

今回は「かんでんぱぱ。」のブランドでお馴染みの伊那食品工業(株)仙台営業所古畑英樹所長、牛乳や乳製品、農産物などを取り扱いする(株)ヤマラクフーズ代表取締役山口長一社長、同じく(株)ヤマラクフーズ執行役員佐藤智紀統括部長、そしてヤマラク牛乳の製造元奥羽乳業協同組合堀田良彰顧問の4名の方にお話しを伺いました。

2008年から伊那食品の粉末寒天と山形県酪農協の完全子会社であるヤマラクフーズの牛乳で、寒天メニューの一番人気である牛乳寒天を「食べる牛乳」として普及活動が始まったそうですが、「牛乳寒天の素」の開発により、両社での本格的な普及活動の始まりとなったようです。ヤマラク牛乳のパックには当時から「牛乳寒天の素」の広告を載せているとのこと。2011年には東日本大震災が発生、原発事故等もあって東北は生乳生産が落ち込みました。2012年には

生乳生産は回復してきたものの消費は今一つ伸びない状況で、何とか消費拡大をと牛乳寒天の再普及に取り組んだ経緯もあるとのことでした。

さて、昨今の生乳需給は大幅緩和傾向で、牛乳・乳製品の消費拡大が喫緊の課題となっています。「牛乳寒天の素」には原料として脱脂粉乳が使用されています。ちょっと手作りのところで牛乳を使用します。山形県の置賜地域では新年や法事など人が多く集まる時には、抹茶寒天やくるみ寒天などを作っておもてなしする習慣があったそうです。昔は寒天を作るのは時間と手間がかかって大変だったけど、この牛乳寒天は手軽にできる。脱脂粉乳と牛乳を消費できて、いわゆる「出口対策」の一つとしては最適商品と山口社長は仰っていました。

ヤマラクフーズは山形県南地域や山形市を中心に宅配戸数が約2,000戸あるそうです。宅配を中心として、牛乳と牛乳寒天の素セット販売の注文書ですでにかなりの注文があり、伊那食品ともども手ごたえを感じているようですが、春休みに向けてさらに取り組みを強化するとのこと。全酪連の関連会社全酪フーズ(株)でも牛乳寒天の素の取り扱いを開始することで、農協乳業プラントなどで販売展開されることが期待されます。(I.Y)

▼ 古畑所長と山口社長



▲ フルーツ入り牛乳寒天



令和4年

各地域酪農青年女性会議 酪農発表大会

開催のご案内

発表大会／開催日

開催場所

第48回北海道酪農青年女性会議
酪農発表大会

3月22日(火)

〈京王プラザホテル札幌〉
〒060-0005
北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1
TEL:011-271-0111

第50回東北酪農青年女性会議
酪農発表大会

3月24日(木)～25日(金)

〈八幡屋〉
〒963-7831
福島県石川郡石川町母畑温泉
TEL:0247-26-3131

第50回関東甲信越酪農青年女性会議
酪農発表大会

3月18日(金)

〈群馬県ロイヤルホテル〉(オンライン開催)
〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-9-7
TEL:027-223-6111

第50回中部酪農青年女性
酪農発表大会

3月17日(木)～18日(金)

〈湯の山温泉 グリーンホテル〉
〒510-1233
三重県三重郡菰野町菰野8522
TEL:059-392-2115

第52回西日本酪農青年女性会議
酪農発表大会

4月14日(木)～15日(金)

〈ホテルメルパルク松山〉
〒790-0858
愛媛県松山市道後姫塚123-2
TEL:089-945-6411

第50回九州酪農青年女性
酪農発表大会

4月20日(水)～21日(木)

〈鹿児島サンロイヤルホテル〉
〒890-8581
鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目8-10
TEL:099-253-2020

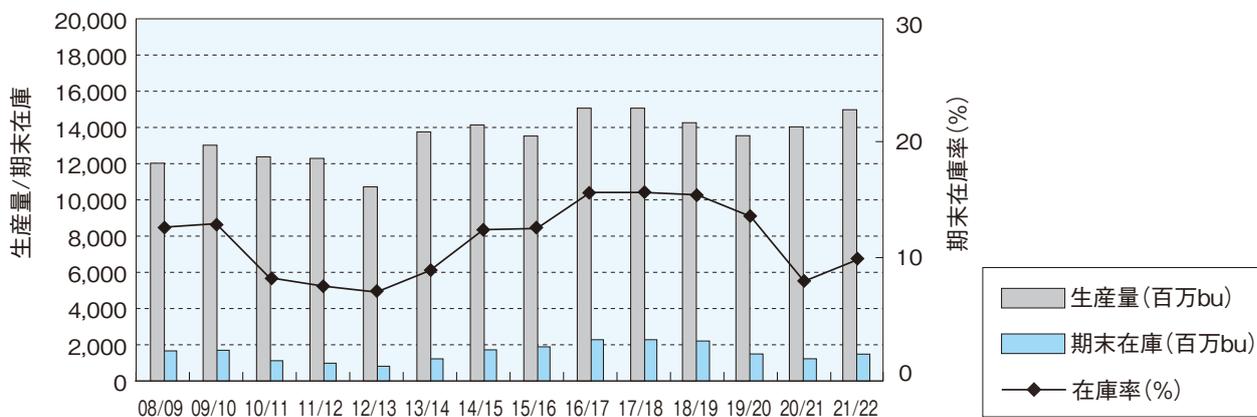
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催方法に変更が生じる場合があります。

お申込み・お問い合わせは、最寄りの全酪連支所までご連絡ください。

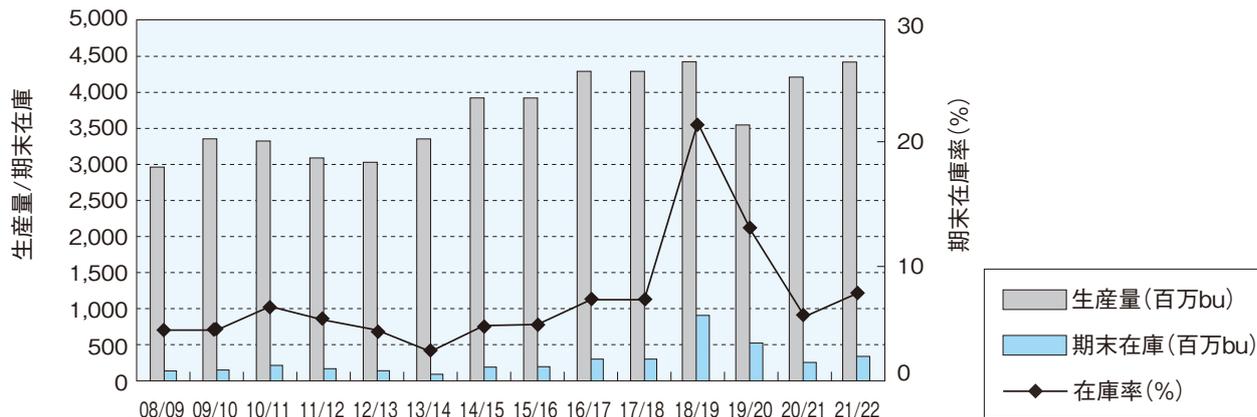


| | | 20/21年産 | 21/22年産 |
|------------------------------------|---|------------|------------|
| 1月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想 | 作付面積(百万エーカー) | 90.7 | 93.4 |
| | 単 収(ブッシェル/エーカー) | 171.4 | 177.0 |
| | 生 産 量(ブッシェル) | 141億1,100万 | 151億1,500万 |
| | 需 要 量(ブッシェル) | 148億2,100万 | 148億3,500万 |
| | 期末在庫(ブッシェル) | 12億3,500万 | 15億4,000万 |
| | 在 庫 率 | 8.33% | 10.38% |
| トウモロコシ 相場動向 | 南米での降雨による大豆収穫遅延懸念からシカゴ相場は堅調に推移している。また環境規制の影響で天然ガスなどの資源価格が高騰しており、米国のエタノール需要が堅調なことから引き続きトウモロコシの需給は逼迫しておりシカゴ相場も強含みで推移している。 | | |
| 大豆粕相場動向 | 米国産大豆シカゴ相場は南米産の乾燥懸念や中国向け輸出等が下支えとなり堅調に推移している。また、為替円安により、食用油価格の値上げがされたものの国内搾油メーカーの採算は引続き厳しい状況にあるため、国内大豆粕相場は堅調に推移している。中国産大豆粕の現地価格は落ち着きつつあるものの、近海船運賃は堅調で高値安定となっている。 | | |
| 槽糠類 | 【一般フスマ】 小麦粉の値上げに伴う先取り需要等により、年始からの挽砕量の動向や、逼迫しているその他の槽糠類からの置換え需要等、引続き出荷制限はかかる見通しとなっている。 | | |
| | 【グルテンフィード】 国産は非常に薄い在庫の中、スターチメーカーが定修時期を迎え、需給は非常に逼迫している。中国産は発生の減少や海上運賃の高止まりにより価格は高騰している。国産、輸入ともに国内スターチメーカーの稼働期となる春先迄、需給の改善は見込めない状況にある。 | | |
| 海上運賃 | 12月海上運賃は下落基調。中国では石炭不足と言われていたが国内増産でカバーすることができ、輸入量が増えなかったことが要因となっている。今後は中国向けの南米産大豆の引き合いが活発化し、さらに北京オリンピックを前に低調となっていた荷動きが再開することに合わせ、徐々に市況は上昇していくと考えられるため中国向けの需要の動向を注視していく必要がある。 | | |

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和4年1月

| | |
|--------------------------|--|
| <p>北米コンテナ船情勢</p> | <p>全米最大のコンテナ取扱数量を誇るロサンゼルス港及びロングビーチ港における沖合でのコンテナ本船の滞船は100隻を超えており、先月の期首よりも状況は悪化しています。この混雑の影響で船社によっては滞船を避けスケジュール調整を図るため、ロサンゼルス・ロングビーチ港の抜港を不定期に実施していましたが、1月から当面の間、日本向けの直行便は毎週の運航から隔週に変更される見込みです。この影響で運航する1つの本船に対する需要が強くなり船腹の確保が今まで以上に難しくなることが危惧されています。加えてロサンゼルス・ロングビーチ港ではターミナルへのコンテナ搬出入を待つトラックの混雑も悪化しています。乾牧草を積載したコンテナをターミナルに返却するために6時間以上も待機することが恒常化しています。また本船スケジュールも乱れていることから、各本船の寄港の際に定められるターミナルへのコンテナ搬入期日が直前に前倒しされることも増えており、各輸出業者において直前でのトラック手配が間に合わず次船に遅延するオーダーが増えています。このことから最近ではスケジュール通りに日本に到着するオーダーの方が少なくなっており、1-2か月の遅延は珍しい状況となっています。日本向けにアルファルファ、チモシーが多く輸出されているPNW航路でも状況は悪化しています。冬季を迎えPNW航路において寄港する米国のシアトル・タコマ港とカナダのバンクーバー港では強風や降雪の影響でターミナルが閉鎖する日が増えています。加えて、本船の荷役作業の効率が低下しているため、これらの港でも沖合での滞船が増加しています。この影響で、平時はタコマ港寄港から東京港到着まで20日程度要していた所要日数は直近では40日程度となっています。</p> |
| <p>ビートパルプ</p> | <p>【米国産】 主産地である中西部では各製糖工場で順調にビートパルプが生産されています。21-22年産は生育期の天候に恵まれたため原料であるビートの生産状況は良好で例年以上の発生量となっています。保管面でも現在の寒冷な天候が原料の品質劣化防止に寄与しており、最終的なビートパルプの生産量は前年を上回る見込みです。一方でビートパルプに対する国内外からの需要は堅調で、追加の供給余力はない状況です。</p> |
| <p>アルファルファ</p> | <p>1月6日に米国農務省（USDA）から発表された輸出統計によると、アルファルファを中心とする中国への乾牧草の輸出量は21年1月-11月で149万tとなっています。これに対し日本向けは131万tとなっており、21年は歴史上はじめて米国から中国への輸出数量が日本向けを上回ることが確実視されています。好調な乳価と経済の発展に伴い伸長する乳製品の消費量から一昨年20年の中国での生乳生産量は3,400万t（米国農務省発表のレポートより）となっており、生産の拡大とともに米国産乾牧草の需要は年々増加を続けています。</p> <div data-bbox="938 795 1444 1019"> <p>(日本、中国向け米国産乾牧草の輸出推移(21年は1-11月まで)出典:USDA) ※単位:縦軸=t 横軸=年</p> </div> <p>【ワシントン州】 産地相場は中国及び内需の引き合いから引き続き堅調に推移しています。産地では昨年末から年始にかけて、断続的な降雪に見舞われています。輸出業者の工場が多く立地しているエレンズバーグからシアトル港及びタコマ港をつなぐ幹線道路（通称：I-90）が降雪により数日間閉鎖されたため、乾牧草を積載したコンテナ輸送が滞り出荷に遅延が発生しています。各輸出業者は船腹確保に加え国内輸送にも苦慮している状況です。</p> |
| <p>チモシー</p> | <p>【米国産】 21年産は早魃の影響で収量が減少したため、生産量が例年に比べ大幅に減少しました。このため、輸出業者は満足に買付できず供給量が限られることから、各顧客に対しグレードによって出荷制限を設ける動きも出ています。</p> <p>【カナダ産】 21年産は収穫期に早魃に見舞われたことから、生産量は例年以下となりました。加えて、国内外からの需要は強く、現地在庫は上級品・低級品全て成約済みとなっています。昨年11月に発生したプリティッシュコロンビア州での水害によりバンクーバー港への貨車が寸断され、一時出荷が滞りましたが、12月中旬より運航を再開しています。</p> |
| <p>スーダングラス</p> | <p>21年産は作付面積の減少に加え、夏場の降雨の影響を受け生産量が例年に比べて減少しています。この結果、各輸出業者は満足に数量を確保できず、余剰在庫はない状況です。各輸出業者、船腹の確保及び頻繁に変更となるコンテナ本船のスケジュール対応に苦慮しており、出荷遅延が増加しています。加えて各輸出業者が位置するカルフォルニア南部インペリアルバレーではオミクロン株の感染が拡大しており、トラックや工場作業員が不足しているため、今後の出荷状況への影響に注視が必要です。</p> |
| <p>クレイングラス</p> | <p>クレインは全酪連の登録商標です。</p> <p>21年産は主産地インペリアルバレーの作付面積は年間を通じておよそ19,500エーカーで維持され、4月から10月にかけて収穫されました。夏場に断続的な降雨があったものの、6番刈まで収穫されたことで、降雨被害のリスクが分散できたため、総生産量は例年の日本の需要を満たすことができると見込まれています。産地相場は比較的安定的に推移していましたが、最近では他草種の逼迫感から、クレイングラスへの引き合いが強くなっており、上昇基調にあります。今後の出荷状況についてはスーダンと同様に注視が必要です。</p> |
| <p>ストロー類</p> | <p>オレゴン産ライグラスストロー及びフェスキューストローは、日本や韓国からの引き合いが強いものの、産地では余剰在庫はない状況です。主要港であるポートランド港は慢性的な空コンテナ不足に直面している上、PNW発のコンテナ本船減便の影響で、各輸出業者は満足に出荷できていない状況が続いています。</p> |
| <p>オーツヘイ</p> | <p>【豪州産】 21年産の収穫が全豪的に終了しています。21年産は収穫期が低温であったため乾燥に例年以上に時間を要したことに加え、降雨量が多かったことから、上級品の発生が限定的となっており、輸出業者によっては各顧客に対して上級品の出荷制限を設ける動きが出ています。</p> |
| <p>豪州海運情勢について</p> | <p>豪州航路についても、引き続き大幅なスケジュールの遅延が発生しています。現在豪州発のコンテナ本船において、日本向けの直行便が運休となっているため、すべての輸出コンテナはマレーシア、シンガポール、中国、韓国などの積替港を経由し日本に輸入されています。積替港でも港湾の混雑は深刻で豪州から出港後、積替地で長期の足止めを食らうケースが多く、2-3か月程度のスケジュール遅延が増加しています。加えてマレーシアでは昨年12月17日から断続的に大雨があり、首都圏を中心に洪水が発生し、港湾の操業も停止され、混雑を助長しています。マレーシア発のフィーダー船の輸送能力も限られていることから、日本向けに滞留するコンテナを解消するために、一部の船社では西豪州、南豪州港発神戸向けの運航を一時見合わせることを発表しています。</p> |

今般、次のとおり人事異動をお知らせします。



| 新 | 旧 | 氏名 |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------|
| <p>■令和4年2月1日付異動発令</p> | | |
| <p>仙台支所 次長 兼 総務課長 兼 指導組織課長</p> | <p>(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金 事務局長</p> | <p>中 嶋 仁</p> |
| <p>北福岡工場 次長 兼 製造課長</p> | <p>北福岡工場 次長 兼 原料課長</p> | <p>金 野 渉</p> |
| <p>北福岡工場 品質管理課長</p> | <p>酪農部 乳製品工場課長代理</p> | <p>松 寄 進</p> |
| <p>北福岡工場 原料課長</p> | <p>北福岡工場 製造課長</p> | <p>松 田 光 男</p> |
| <p>日本酪農政治連盟 事務局長</p> | <p>仙台支所 次長 兼 総務課長 兼 指導組織課長</p> | <p>石 本 文 樹</p> |
| <p>(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金 事務局長</p> | <p>日本酪農政治連盟 事務局長</p> | <p>吉 村 薫</p> |
| <p>■令和4年2月1日付昇進発令</p> | | |
| <p>企画管理部 副部長 兼 経理課長</p> | <p>企画管理部 経理課長</p> | <p>佐 藤 一 昌</p> |
| <p>購買生産指導部 酪農生産指導室 課長</p> | <p>購買生産指導部 酪農生産指導室 課長代理</p> | <p>置 本 宗 康</p> |
| <p>酪農部 乳製品工場課長</p> | <p>酪農部 乳食品課長代理</p> | <p>松 本 悟</p> |
| <p>酪農部 乳食品課長代理</p> | <p>酪農部 乳食品課</p> | <p>工 藤 祐 也</p> |
| <p>東京支所 栃木事務所長</p> | <p>東京支所 栃木事務所長代理</p> | <p>武 田 和 之</p> |
| <p>■令和4年2月1日付兼務解除発令</p> | | |
| <p>酪農部長</p> | <p>酪農部長 兼 乳製品工場課長</p> | <p>佐 藤 弘</p> |



乳牛産地情報

令和4年2月1日現在

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

| 事務所 | 畜種 | 相場(万円) | 価格状況 | 管内状況 |
|------|--------------|--------|------|---|
| 札幌管内 | 育成牛(10-12月令) | 30~40 | ▲ | 札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で103.4%、累計で99.1%、苫小牧管内月計で98.7%、累計で98.9%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩が中心となります。1月の同地域乳牛市場は、横這いの相場展開をみせました。2月の相場展開については春分娩が中心になるため、管内庭先購買におきましても、やや強含みで推移すると予想されます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。 |
| | 初妊牛 | 57~67 | ▲ | |
| | 経産牛 | 35~45 | → | |
| 釧路管内 | 育成牛(10-12月令) | 30~40 | ▲ | 根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.8%、累計で102.3%、中標津管内月計で104.9%、累計で104.6%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、需要が多い4月産みの春分娩となってくるので、庭先購買価格はやや強含みで推移するものと思われま。腹別ではF1腹、和牛受精卵移植腹は堅調、雌雄選別腹はやや軟調で動くものと思われま。初妊牛の動きに合わせて、産歴の少ない経産牛もやや強含みの動きとなるものと思われま。育成牛につきましては、春産まれのものとなりますので、こちらも堅調に推移するものと思われま。 |
| | 初妊牛 | 60~68 | ▲ | |
| | 経産牛 | 40~45 | ▲ | |
| 帯広管内 | 育成牛(10-12月令) | 35~45 | ▲ | 帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.8%、累計で104.5%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩が中心となります。1月の同地域乳牛市場は、上場頭数多かったこともあり、横這いの相場展開をみせました。2月は春分娩の牛が中心になるため、管内庭先購買におきましてもやや強含みで推移すると予想されます。資源状況としましては、雌雄選別腹・F1腹ともに十分に確保できるものと思われま。また、育成牛に関しましても、春産まれになるため、やや強含みの相場になると予想されます。 |
| | 初妊牛 | 60~70 | ▲ | |
| | 経産牛 | 35~45 | → | |
| 道北管内 | 育成牛(10-12月令) | 26~36 | → | 道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で103.2%、累計で100.5%、北見管内では月計で104.6%、累計で103.3%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4月中旬~5月分娩が中心になります。生乳生産抑制の影響はありますが、春分娩は一定の需要があるため相場はやや強含みで推移すると予想されます。F1腹の引合いは強く、雌雄選別腹の引合いは弱く動くものと思われま。経産牛について、出回り頭数は少なく、道内の引き合いは堅調なため、横這いで推移するものと思われま。育成牛も来春産みに期待できるため、堅調に推移するものと思われま。 |
| | 初妊牛 | 57~67 | ▲ | |
| | 経産牛 | 35~45 | → | |
| 道内総括 | 育成牛(10-12月令) | 30~40 | ▲ | 道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は104.0%、累計で103.1%の実績となっております。道内では、積雪も多く最も寒い時期を迎えております。2月の初妊牛動向といたしまして、需要の強い4月分娩中心となります。年明けの相場としては、やや強含み相場予想でしたが、大きな相場の動きは無く横這いとなりました。2月については、各地域とも本格的な春分娩に移行してきますので、やや強含みの相場展開を予想します。資源につきましては、引き続き潤沢であり購買しやすい環境となっております。購買計画がございましたら、お早めに最寄りの弊会支所担当者までご相談頂き、ご希望に合った搾乳用素牛を庭先選畜購買中心により供給させていただきますので宜しくお願い致します。 |
| | 初妊牛 | 60~70 | ▲ | |
| | 経産牛 | 35~45 | → | |

今月の表紙

今月の表紙は「第11回 酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「よしよし♡」(愛知県 浅田ファーム 撮影)です。



令和4年2月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 2月号 No.677

●編集・発行人 工藤文彦
 ●発行 全国酪農業協同組合連合会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
 TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

編集後記

- 3月中旬より各地域酪農青年女性会議 酪農発表大会が開催されます。
各地域の感染状況に合わせた開催方法を検討しながら準備を進めておりますが、オミクロン株の影響により全国各地で急速に感染者数が増え続けています。改めて、感染対策を見直すとともに、一刻も早い収束を願うばかりです。まだまだ寒い日が続きますので、どうか、ご自愛ください。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

今月の

らくのう

こどもギャラリー 入賞作品紹介



みるくをのんでいるこうし

室場小学校 1年(中部) 都築 大和

今月の入賞作品は…

室場小学校 1年(中部)の都築大和さんの作品です。

牛舎の中でミルクを飲んでいる子牛をクレヨンで描いた作品です。身を乗り出して一心不乱にミルクを頬張る仕草が可愛く描かれています。まるでゴクゴクと喉を鳴らしてミルクを飲む音が聞こえてきそうな臨場感があります。赤で太く大胆に描いた牛舎の柵がいいですね、子牛の小ささ、幼さがより強調されています。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第47回らくのうこどもギャラリー」で全国198点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議